

# 統計調査ニュース

No.363

平成29年(2017)2月



## 第1回「地方公共団体における統計利活用表彰」 ～佐賀県における「データ分析に基づく政策立案手法の導入」～

佐賀県総務部統計分析課長 小路 恭史

客観的な統計データに基づく  
的確かつ効率的な行政運営を促  
進する観点から、今年度、総務  
省において、統計を利活用した  
優れた取組を進める地方公共団  
体を表彰する「地方公共団体  
における統計利活用表彰」制度が  
創設されました。

そして、52件の取組の中から、  
本県を含む5つの自治体が総務  
大臣賞等を受賞しました。

本県が受賞した「データ分析  
に基づく政策立案手法の導入  
(データ利活用プロジェクト)」  
は、平成26年度から3年間の計  
画で取り組んできたものです。

このプロジェクトは、県庁内  
の横断的な取組で、データ分析  
を基にした施策立案や効果の検  
証が県庁内に根付くよう、①先行  
テーマとして設定した「救急医  
療」や「肝炎対策」でのデータ  
分析、②先行テーマでの取組で得  
られた統計分析に係る知識・ス  
キル等の県庁内への浸透・定着

を図る「統計データ利活用推進  
研修」(体系的な人材育成)、③組  
織内への浸透を狙った仕掛け、  
といった3つの大きな柱で構成  
しています。

この中で、当課は、主に人材  
育成やデータ分析等に係る相談  
対応といった、県庁内でデータ  
を利活用していく基盤づくりを  
担当しています。研修修了者は、  
開始した平成27年度からの累計  
で200名を数え、データ分析に  
関する相談も月を追うごとに増  
えています。

当課としましては、経験や勘  
に加え、“データの利活用”も併  
せた業務遂行の意識がさらに浸  
透・定着していくための役割を、  
今後もしっかり果たしていきたい  
と考えています。

また、こうした“データの利  
活用”の基礎となる、精度が高  
く信頼される統計データの整備  
も極めて重要です。御回答いた  
だく事業所や世帯の皆さんを始

め、関係各位の御理解、御協力  
を得ながら、“すべては、利活用  
される皆さんのために”をモッ  
トローに、引き続き、各種統計調  
査の着実な実施に尽力していき  
たいと考えています。

さて、来年2018年は「明治維  
新150年」という節目の年を迎  
えます。明治政府で二度にわたり  
内閣総理大臣を務めた大隈重  
信は、佐賀藩の出身であり、「統  
計院」の設立を建議して、初代  
の院長に就任しました。

本県としましては、この度の  
受賞を励みに、今後も統計デー  
タの更なる利活用にチャレンジ  
していきたいと考えています。

あわせて、「統計の利活用」が、  
この表彰制度創設を契機に、全  
国の自治体で着実に浸透、定着  
していくことを心から期待して  
います。

### 目次

第1回「地方公共団体における統計利活用表彰」  
～佐賀県における「データ分析に基づく政策立案手法の導入」～ … 1  
平成28年度登録調査員中央研修を開催しました … 2

統計資料館からのお知らせ  
／統計研修所 オンライン講座について … 4  
「統計の日(10月18日)」の標語募集! … 6  
中核市発とうけい通信⑩ … 7

# 平成28年度登録調査員中央研修を開催しました

総務省政策統括官（統計基準担当）室では、統計調査員に選任されることを希望する者をあらかじめ登録（以下「登録調査員」という。）し、統計調査員の円滑な人材確保に資するとともに、研修等により、その資質の向上を図る人材育成を目的とした「統計調査員確保対策事業」を実施しています。

「登録調査員中央研修」は、この統計調査員確保対策事業の一環として実施しているもので、各地域において中核的・指導的な役割を担う登録調査員の資質の向上及び地域の枠を越えた相互交流を目的としています。

今回は、平成28年12月12日（月）・13日（火）の2日間にわたって、全国から登録調査員68名、都道府県及び市町の職員24名、計92名の参加を得て、総務省第2庁舎において開催しました。

今回の研修は、調査困難世帯、事業所などの調査客体に対する対応方法などの知識を身に付けることを主な目的として開催しました。

また、参加された登録調査員の方は、各地域において統計調査員としての豊富な経験を有していますので、地域の枠を越えた経験談・知見の相互共有を図り、調査活動における様々な問題に関し活発な討議を行うことも目的としています。

## 12月12日（第1日目）

### 1 挨拶

研修の開催に当たり、新井政策統括官から国の各種統計調査実施の最前線を担ってこられた参加者に対し、調査票1枚、1枚が貴重なデータとなり、政策判断の基になっていることなど、これまでの御尽力に対する感謝の思いを伝えました。

### 2 講義「苦情対応の実践とストレスマネジメント」

講義をしていただいた柴田先生は、心理学の専門家であり、統計調査員が調査世帯などに訪問した際、苦情を受けたときの対応方法について、心理学的アプローチの観点から講義いただきました。

日本の昔話などを盛り込みながら、前半は「①苦情対応の実践テクニック」として、苦情対応の心理的なメカニズムや対応例、後半は「②言いがかり・難癖対応」を説明していただきました。実際に使える便利な言葉の紹介や、企業や役所にあった苦情対応の実例紹介など実用的な講義となりました。最後に、参加した登録調査員自身のストレスケアを目的とした「③ストレスマネジメント」で、ストレスチェックを行い、ストレスタイプに応じた対処方法を学びました。

参加者のアンケートでは、「役に立つ」、「（調査活動に）使える」といった御意見を多く頂き、おおむね好評でした。

また、「一歩踏み込んだ内容」との評価も頂きました。



講義の様子

### 3 班別討議

班別討議は、「調査困難な客体から回答を得るために」をテーマに、都道府県を越えた相互交流を図るため、11班に分かれて行いました。



班別討議の様子

**12 月 13 日 (第 2 日目)****1 班別討議結果の発表**

班別討議の結果について発表していただきました。氏名や世帯人員の確認方法などについて、様々な工夫をした事例が発表されました。



結果発表の様子

参加者からは、班別討議はとても好評であり、様々な問題に対し「参考となる対応策を得られた」や、「同じような悩みを抱えながらも頑張っていることに勇気付けられた」などの御意見を頂きました。

**2 講義「ビッグデータ時代の統計の価値と活用事例について」**

愛知教育大学准教授の青山先生に講義をしていただきました。自動車に関するビッグデータ活用例や、身近なニュース番組での統計の利用のされ方などについて、参加した登録調査員とやりとりしながら、御説明いただきました。

研修資料にも「信頼できる統計データは貴重な資源でありお宝」とありましたが、参加者からも「データを集める仕事のやりがいになった」、「資源のない日本にとってデータが大切」などの御意見を頂きました。



講義の様子



グループ作業の様子

今回の研修が参加者にとって、今後の統計調査員活動や、統計調査員支援・指導のための一助となれば幸いです。また、今回頂いたアンケートなどを参考に来年度もより良い研修を開催いたしますので、機会がありましたら、是非御参加ください。

## 統計資料館からのお知らせ

統計資料館は、平成3年10月18日（統計の日）に、政府統計制度創設120年を記念して開設されました。

館内では、明治初期からの統計に関する文献や第1回国勢調査のポスター等の貴重な資料を展示しています。

また、統計に関するクイズが楽しめるコーナー等、大人から子どもまで楽しく統計について学習することができますので、是非御来館ください。

**所在地** 東京都新宿区若松町19-1  
総務省第二庁舎敷地内

**開館時間** 午前9時30分から午後5時まで  
【入館無料】

**休館日** 土曜日、日曜日、国民の祝日・休日及び  
年末年始

**電話** 03-5273-1187

※団体で見学される場合は、事前に下記まで御連絡ください。

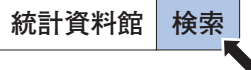
【総務省統計局統計情報システム課統計情報戦略担当】

電話 03-5273-1023

メール y-senryaku@soumu.go.jp

<http://www.stat.go.jp/library/shiryo.htm>

<https://www.youtube.com/watch?v=C4zTRDTeN8>



総務省統計局  
**統計資料館**  
日本の統計140年の歴史に触れる

開館時間 午前9時30分から午後5時まで  
(休館日) 土曜日、日曜日、国民の祝日・休日  
年末・年始(12月29日～翌1月3日)

総務省統計局  
〒162-8601 東京都新宿区京橋町19-1 総務省第二庁舎敷地内 電話: 03-5273-1187 4F-5: shiryokan@soumu.go.jp  
総務省統計局  
〒100-8901 東京都千代田区千代田1-1-1 総務省庁舎敷地内 電話: 03-5273-1131 X-6: o6kaku@soumu.go.jp

【統計資料館ポスター】

## 統計研修所 オンライン講座について

統計研修所は、平成28年度に「初めて学ぶ統計－公務員のためのオンライン講座－」を開講し、29年度からは統編である「統計的推定」に関する講座を開講する予定です。

これらの講座は、統計リテラシー（公的統計等のデータを読み解く能力）の普及・向上を図り、行政運営に必要な統計的思考力やデータ分析力の高い人材を育成することを目的としています。

講師による講義はパソコン、タブレット端末及びスマートフォンでの受講が可能となっています。インターネット回線があればいつでも視聴することができますので、職場や御自宅はもちろん、通勤中などの移動時間にも御利用いただけます。

統計局動画チャンネル（YouTube）で現在公開中の「初めて学ぶ統計－公務員のためのオンライン講座－」は、データの見方と使い方・データの集め方など、統計の基礎的な知識を身に付けることができます。

### 【「初めて学ぶ統計－公務員のためのオンライン講座－」の概要】

- 第1章：統計とは  
統計の意義と役割を学び、統計を学ぶ必要性や重要性について理解を深めます。
- 第2章：データの性質と代表値  
データ、度数分布の特徴や代表する値について平均値を中心に学びます。
- 第3章：データの分布と相関  
様々な分布について平均からのばらつきに注目し、分布を標準化する方法、2つの分布の関係を求める方法を学びます。
- 第4章：データの見方  
統計表やグラフによるデータの見方、比率で表現することの有用性、時間的な変化を把握する方法について学びます。
- 第5章：行政運営のための公的統計  
統計を作成する立場に焦点を当て、公的統計の役割と特徴を概観し、時間・予算・人員が限られる中で状況を把握するための標本調査の考え方に触れます。

統計を知れば  
働き方が変わる。

「総務省統計研修所」による  
新しいスタイルのオンライン統計講座

初めて学ぶ統計  
－公務員のためのオンライン講座－

講義動画による分かりやすい入門コース

無料作成の際には  
欠かせないわ

大事な判断の  
根拠になるよ

総務省統計研修所

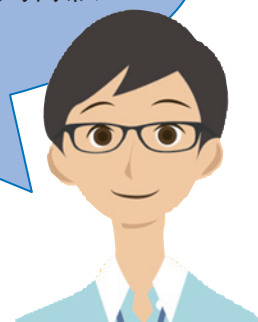
初めて学ぶ統計  
—公務員のためのオンライン講座—  
受講者の声

- ・統計グラフの作成過程が動画で説明されて分かりやすかった。
- ・ヒストグラムやグラフなどの正確な書き方や表す意味などの再確認ができた。
- ・標準偏差や共分散なども丁寧に解説されており、学びやすかった。

- ・統計の初任者に季節変動の意味や名目と実質の違いなどを学んでもらえる内容。
- ・統計学だけでなく、統計調査のイメージもできた。相関関係などは今後利用したい。
- ・データの意味を正しく読み取ることができれば、統計部局以外の業務にも役立つと思う。

- ・講義時間がコンパクトで、業務の合間に受講することができた。
- ・職場でできないときは、自宅でスマートフォンを利用して受講することができた。
- ・いつでも、場所を選ばずに専門家から学ぶことができ、大変良かった。

- ・教科書などと違い、映像・音声・字幕を合わせた講義で理解が進んだと思う。
- ・一つの講義が短いので、スマートフォンで通勤時間帯に受講することができた。



平成 29 年度開講予定の「統計的推定」に関する講座は、統計研修所オンライン講座の第 2 弾であり、推測統計の基礎を学ぶことができる内容です。「一を聞いて十を知る」という言葉がありますが、抽出された標本から母集団を「推定」することができれば、統計データの活用、分析の幅を更に広げることができるでしょう。

既に「初めて学ぶ統計—公務員のためのオンライン講座—」を受講され、より詳しく統計について学習したり、集合研修の事前学習として受講いただくことで、統計について理解を深める一助となれば幸いです。

# 「統計の日(10月18日)」の標語募集!

応募期間 平成29年2月1日(水)～3月31日(金)

## 1. 趣旨

総務省では、統計の重要性に対する国民の関心と理解を深め、統計調査に対する国民のより一層の協力を頂けるようにと定めた「統計の日(10月18日)」の周知を図るため、毎年「統計の日」のポスターを始めとする広報媒体に活用すべく標語を募集しています。

総務省では、この「統計の日」の趣旨を踏まえた標語について、皆様からの御応募をお待ちしております。

なお、入選作品は、「統計の日」のポスターのほか、調査環境を整備するための各種広報に活用することとしております。

## 2. 募集部門

- 小学生の部 …… 小学校の児童
- 中学生の部 …… 中学校の生徒
- 高校生の部 …… 高等学校の生徒
- 一般の部 …… 上記以外の学生及び一般の方
- 統計調査員の部 …… 統計調査員又は登録調査員の方
- 公務員の部 …… 各府省、都道府県、市区町村の職員

## 3. 応募方法

- 専用の応募用紙にて、1人5作品まで応募できます。
- 応募用紙以外で応募される場合は、次の記載事項を明記の上、応募してください。
  - ①部門、②お住まいの都道府県名、
  - ③氏名(ふりがな)、④所属・学校名(学年)、
  - ⑤電話番号、⑥標語(1人5作品まで)
- ※一般の部：④は、記入不要です。
- ※統計調査員の部：④は、「〇〇市統計調査員」等と記入してください。
- 応募作品は、自作で未発表のものに限ります。

専用の応募用紙及び過去の入選作品については、以下のホームページを御覧ください。

[http://www.soumu.go.jp/toukei\\_toukatsu/info/guide/02toukatsu01\\_04000202.html](http://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/info/guide/02toukatsu01_04000202.html)

## 4. 提出方法

- 小学生の部、中学生の部、高校生の部、一般の部は、総務省政策統括官(統計基準担当)室まで、メール、FAX又は郵送で提出してください。
- 統計調査員の部は、所属する都道府県又は市区町村の統計主管課へ提出してください。
- 公務員の部のうち、各府省の職員は、職場の取りまとめ部署へ提出してください。
- 公務員の部のうち、都道府県及び市区町村の職員は、所属する都道府県又は市区町村の統計主管課へ提出してください。

## 5. 提出先

メールの場合 [toukeinohi@soumu.go.jp](mailto:toukeinohi@soumu.go.jp)

FAXの場合 03-5273-1181

郵送の場合

〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1

総務省政策統括官(統計基準担当)付統計企画管理官室普及指導担当 宛

## 6. 入選作品の決定・発表

- 入選作品は、部門ごとに佳作1作品程度、そのうち、特に優秀な作品として特選1作品を決定します。
- 入選作品は、平成29年6月(予定)に発表します。
- 入選された場合、御本人(又は応募作品の取りまとめ部署等)に御連絡するとともに、総務省のホームページや広報誌等において、作品、名前、所属・学校名(学年)、都道府県名を発表します。

## 7. 表彰

入選者には、表彰状及び副賞を授与します。

## 8. 著作権

入選作品の著作権は、総務省に帰属します。

## 9. お問い合わせ先

総務省政策統括官(統計基準担当)付統計企画管理官室普及指導担当

電話 03-5273-1144(直通)

メール [toukeinohi@soumu.go.jp](mailto:toukeinohi@soumu.go.jp)



【平成28年度「統計の日」ポスター】  
※平成28年度の特選作品が活用されています。

## 中核市発とうけい通信③

## 伝統を引き継いで未来へ 金沢

金沢市は、前田利家公の入城以来 400 年以上も戦災や大きな震災に遭うことなく、藩政時代の風情ある街並みを残しながらも北陸新幹線金沢駅が開業するなど、近代的な都市として発展を続けています。本州のほぼ中心に位置し、人口は約 46 万 6 千人、面積は 468.64km<sup>2</sup>です。明治 22 年に市制施行し、以後近隣町村との合併を重ねて現在の市域となり、平成 8 年に中核市に移行しました。

## ◎北陸新幹線金沢開業

平成 27 年 3 月 14 日、北陸新幹線が金沢まで開業し、多くの方が本市を訪れるようになりました。市内は観光客や市民で大変混み合っており、まちの賑わいを感じることができます。

主な観光施設の平成 27 年の入場者数は、兼六園が 288 万 8 千人(前年比 46.6%増)、金沢城公園が 226 万 2 千人(同 82.3%増)、金沢 21 世紀美術館が 221 万 4 千人(同 31.9%増)と大幅な増加となっています。観光以外にも宿泊、商業、雇用等に顕著な経済効果が見られました。開業 2 年目の現在、新幹線乗客数は若干減少したとはいえ、高水準のまま推移しており、新幹線ブームはまだ続いているようです。

新幹線開業により増加した交流人口とまちの賑わいを持続させるとともに、さらに新幹線の機能が高まる関西までの延伸が待たれるところです。



金沢駅鼓門・もてなしドーム

## ◎金沢の「B級グルメ」

加賀百万石の城下町として栄えた金沢には古い歴史を持つ料亭や料理店が数多くありますが、今回は、最近テレビ等でよく目にする金沢の「B級グルメ」を紹介したいと思います。

## 金沢市都市政策局企画調整課調査統計室

## ・金沢カレー

独特の黒く濃厚なドロツとしたルー、千切りキャベツ、ステンレスの皿、先割れスプーンが特徴です。

## ・ハントんライス

オムライスに海老フライ等<sup>えび</sup>を乗せ、タルタルソースとケチャップがかかっています。豪華版オムライスです。



金沢カレー



ハントんライス

## ◎家計調査から

金沢市民の特徴として「甘いもの好き」があります。家計調査(平成 25 年～27 年平均)の 1 世帯当たり支出額を見ると、菓子類が 101,961 円で全国 1 位となっています。その内訳を見ると、他の和生菓子(16,560 円)、ケーキ(9,058 円)、プリン(2,007 円)、アイスクリーム・シャーベット(10,600 円)なども全国 1 位で、これ以外の多くの菓子類も全国ランキングで上位に位置しています。

市民のお菓子好きの背景には、加賀藩の文化奨励策によって茶道が普及し、これに伴い和菓子が発展したことがあると言われています。

## ◎平成 27 年国勢調査

平成 27 年国勢調査の結果、本市の人口は、465,699 人で、前回(平成 22 年)と比較すると 3,338 人(0.72%)の増加となっています。全国的な人口減少の中での人口増加ではありましたが、本市が持続的発展を続けるためには、子育て政策の充実、移住・定住政策の促進等の施策により、引き続き人口を維持することが課題となっています。

今回から全国的にインターネット回答方式が取り入れられ、本市は 41.1%の回答率でした。個人情報保護意識の高まりなどにより、年々統計調査が困難な環境になっていますが、回答世帯から、「インターネット回答は画面に従って入力するため簡単で回答しやすい」との声も多く聞かれました。効率性、正確性及びプライバシーの保護にも大きな利点があり、今後更にインターネット回答の利用者が増加することが望まれます。

# 最近の数字

実数	人口		労働・賃金				産業			家計(二人以上の世帯)		物価	
	総人口 (推計による人口)		就業者数	完全失業率 (季節調整値)	現金給与総額 (規模30人以上)	鉱工業 生産指数 (季節調整値)	サービス産業 の月間売上高	1世帯当たり 消費支出	1世帯当たり 可処分所得 (うち勤労者世帯)	消費者物価指数			
	千人(Pは万人)	万人								%	円	H22=100	兆円
	H28. 8	126,976	6465	3.1	300,048	97.8	28.5	276,338	391,693	99.7	99.6		
	9	P12692	6497	3.0	295,620	98.4	P30.1	267,119	347,541	99.8	99.7		
	10	P12693	6495	3.0	298,760	98.4	P28.6	281,961	404,859	100.4	100.3		
	11	P12695	6452	3.1	310,696	99.9	P28.6	270,848	351,894	100.4	100.3		
	12	P12692	6466	3.1	P660,700	P100.4	...	318,488	769,634	100.1	99.9		
	H29. 1	P12686	...	...	...	...	...	...	...	...	P99.5		
前年同月比			%	ポイント	%	%	%	%	%	%	%		
	H28. 8	-	1.3	* 0.1	0.5	* 1.3	0.5	-4.6	0.6	-0.5	-0.5		
	9	-	0.9	* -0.1	0.2	* 0.6	P0.3	-2.1	3.3	-0.5	-0.5		
	10	-	1.0	* 0.0	0.2	* 0.0	P0.1	-0.4	-0.2	0.1	0.1		
	11	-	1.1	* 0.1	0.8	* 1.5	P1.5	-1.5	1.4	0.5	0.5		
	12	-	1.3	* 0.0	P0.8	*P 0.5	-	-0.3	2.0	0.3	0.0		

(注) P：速報値 \*：対前月  
 家計(二人以上の世帯)の前年同月比は実質値  
 総人口の平成28年8月及び12月以降は平成27年国勢調査を基準とした値、平成28年9月から11月までは平成27年国勢調査人口速報集計を基準とした値

## 掲示板 統計関係の主要日程 (2017年2月～3月)

### 《会議及び研修関係等》

時 期	概 要	時 期	概 要
2月2日	通信研修「入門2 スクーリング」開講	3月2日	統計研修 統計基本課程「GISによる統計活用」開講(～3日)
7日	統計研修 統計入門課程「統計実務者向け入門(2月)」開講(～10日)	9日	統計研修 地域別統計セミナー「東北地域統計セミナー」開講
9日	平成28年度都道府県等統計主管課(部)長会議	21日	第107回統計委員会
15日	統計研修 特別コース「統計オープンデータ利活用(入門)」開講		
23日	第106回統計委員会		

### 《調査結果の公表関係》

時 期	概 要	時 期	概 要
2月3日	小売物価統計調査(ガソリン)平成29年1月分公表	3月10日	家計消費状況調査(支出関連項目：平成29年1月分確報)公表
7日	家計消費状況調査(支出関連項目：平成28年12月分速報、平成28年10～12月期平均速報、平成28年平均速報)公表	〃	小売物価統計調査(ガソリン)平成29年2月分公表
10日	個人企業経済調査(動向編)平成28年10～12月期結果(速報)公表	14日	家計調査(家計消費指数：平成29年(2017年)1月分)公表
17日	労働力調査(詳細集計)平成28年(2016年)10～12月期平均(速報)及び平成28年(2016年)平均(速報)公表	中旬	日本の統計 2017 刊行
〃	家計調査(家計収支編：平成28年(2016年)10～12月期平均速報及び平成28年(2016年)平均速報)公表	〃	世界の統計 2017 刊行
〃	家計調査(家計消費指数：平成28年(2016年)12月分、平成28年(2016年)10～12月期平均及び平成28年(2016年)平均)公表	21日	人口推計(平成28年10月1日現在確定値及び平成29年3月1日現在概算値)公表
〃	家計消費状況調査(支出関連項目：平成28年12月分確報、平成28年10～12月期平均確報、平成28年平均確報 ICT関連項目：平成28年10～12月期平均及び平成28年平均)公表	23日	住民基本台帳人口移動報告(平成29年(2017年)2月分)公表
〃	社会生活統計指標-都道府県の指標-2017 刊行	31日	労働力調査(基本集計)平成29年(2017年)2月分(速報)公表
〃	統計でみる都道府県のすがた 2017 刊行	〃	家計調査(二人以上の世帯：平成29年(2017年)2月分速報)公表
20日	人口推計(平成28年9月1日現在確定値及び平成29年2月1日現在概算値)公表	〃	消費者物価指数(全国：平成29年(2017年)2月分、東京都区部：平成29年(2017年)3月分(中旬速報値)及び平成28年度(2016年度)平均(速報値))公表
21日	個人企業経済調査(動向編)平成28年10～12月期結果(確報)公表	〃	小売物価統計調査(全国：平成29年(2017年)2月分、東京都区部：平成29年(2017年)3月分)公表
23日	住民基本台帳人口移動報告(平成29年(2017年)1月分)公表	〃	サービス産業動向調査(平成29年1月分速報)公表
28日	サービス産業動向調査(平成28年12月分速報、平成28年10～12月期速報)公表	〃	サービス産業動向調査(平成28年10月分確報)公表
〃	サービス産業動向調査(平成28年9月分確報、平成28年7～9月期確報)公表	下旬	平成26年経済センサス-基礎調査に関する地域メッシュ統計公表
3月3日	労働力調査(基本集計)平成29年(2017年)1月分(速報)公表		
〃	家計調査(二人以上の世帯：平成29年(2017年)1月分速報)公表		
〃	消費者物価指数(全国：平成29年(2017年)1月分、東京都区部：平成29年(2017年)2月分(中旬速報値))公表		
〃	小売物価統計調査(全国：平成29年(2017年)1月分、東京都区部：平成29年(2017年)2月分)公表		

**編集発行** **総務省統計局**

〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1  
 総務省統計局 統計情報システム課  
 統計情報企画室 情報提供第一係  
 TEL 03-5273-1160 FAX 03-3204-9361  
 E-mail y-teikyoul@soumu.go.jp  
 ホームページ <http://www.stat.go.jp/>  
 御意見・御感想をお待ちしております。